



CrashPlanから Acronisへの ソフトウェア切り替え手順書 (Windows10 / macOS 用)



商工会議所データバックアップセンター

<https://ccibackup.jp/>

改版履歴

Rev	作成日	変更理由	変更内容
1.0	2021/03/31	初版	
1.1	2021/06/25	アップデートのため	アラートの仕様変更

登録商標

- ・ Microsoft、Windows は、米国 Microsoft Corporation の米国及び他の国における登録商標です。
- ・ 本ドキュメントに記載されている商品名は、一般に各社の登録商標または商標です。
- ・ 本ドキュメントでは、商標TM・登録商標 (R) ・著作権 (C) 等のマークは記載していません。
- ・ 本マニュアルの内容は、著作権法による保護を受けています。著作者の許諾を得ずに、本マニュアルの内容の一部あるいは全部を無断で転載する事は禁じられています。

ご利用上の注意

Acronis では以下のポートを使ってデータの通信を行ってください。

外部通信：443, 44445

内部通信：6771, 6668, 18018, 18019, 9999, 43234, 9850

ホスト名および IP アドレスなど、より詳細な情報は下記 FAQ をご確認ください。

<https://ccibackup.jp/qa/> 【仕様について】 Q.アクセスポートおよびホスト名

本手順書のねらい

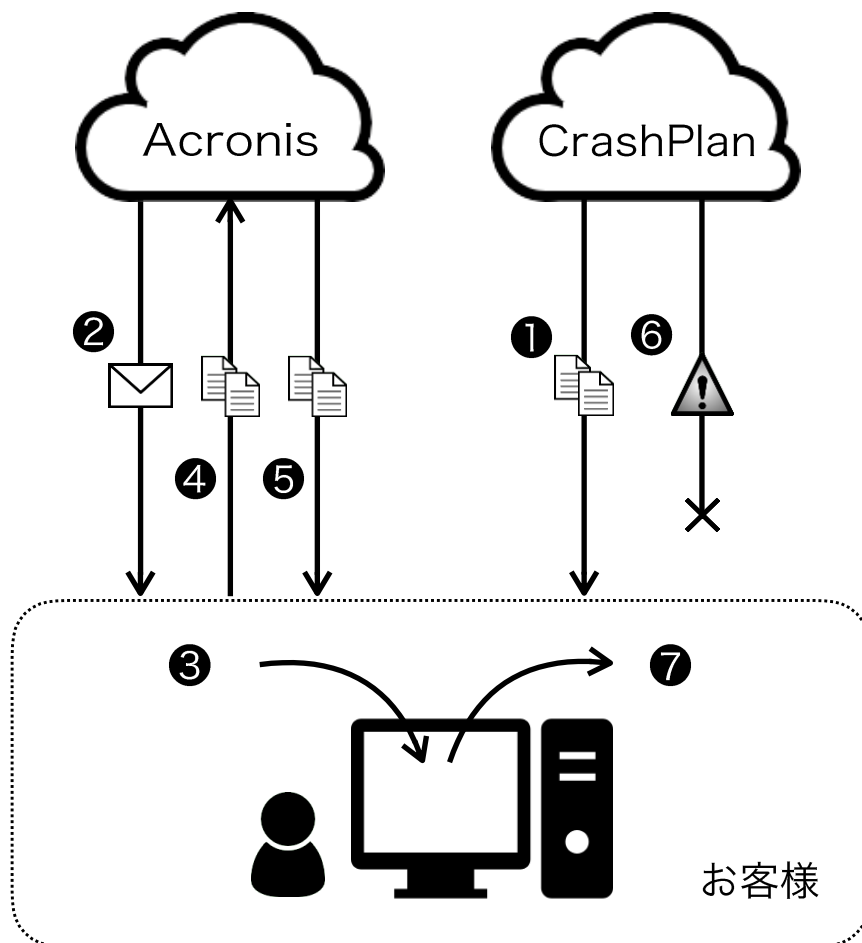
本手順書では、旧ソフトウェア（CrashPlan）から新ソフトウェア（Acronis）への切り替え手順についてご案内いたします。手順全体のイメージは下記の通りです。次ページの目次と合わせてご確認ください。

Acronis の作業

- ② 新アカウントの有効化
- ③ インストールとデバイス登録
- ④ 初回バックアップ
- ⑤ 復元の確認

CrashPlan の作業

- ① 復元（必要な場合のみ）
- ⑥ アラートの停止
- ⑦ アンインストール



目次

CrashPlan からの復元

復元（本項は必要な場合のみ実施してください）	1
------------------------	---

Acronis の開始

新アカウントの有効化	2
------------	---

インストールとデバイスの登録	4
----------------	---

プロキシを使用される場合	7
--------------	---

Windows	7
---------	---

Mac	9
-----	---

バックアップ	10
--------	----

保護計画の作成	10
---------	----

バックアップアラートの設定	13
---------------	----

バックアップの実行	15
-----------	----

復元	16
----	----

CrashPlan の終了

アラート停止	20
--------	----

容量アラートメール	20
-----------	----

バックアップアラートメール	21
---------------	----

アンインストール	22
----------	----

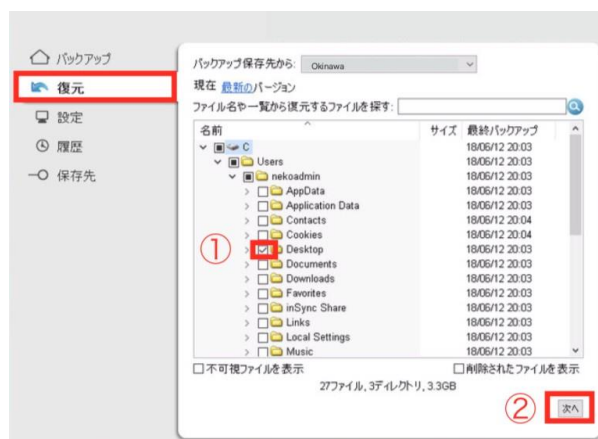
Windows	22
---------	----

Mac	24
-----	----

CrashPlan からの復元

復元（本項は必要な場合のみ実施してください）

1. CrashPlan のアプリケーションを立ち上げ、ログインします。
2. 「復元」タブをクリックします。
3. 復元したいフォルダ／ファイルを選択（①）し「次へ」（②）ボタンをクリックします。



4. 復元オプションが表示されます。



選択したファイルの保存先：「Desktop」「元のディレクトリ」「その他」を選択することができます。「その他」を選択すると、任意のディレクトリに復元することができます。

ファイルが既に存在する場合：「リネーム」と「上書き」を選択することができます。

許可：「現在」と「オリジナル」を選択することができます。ファイルの権限を現在のものか、オリジナルのものかを選択することができます。

5. オプションを選択し、「復元」（③）をクリックします。選択したファイルが指定した復元先に復元されます。

※ 100GB のデータを 5 世代復元する場合、復元先に約 500GB の空き容量が必要になります。

※ 復元したデータを、再度 Acronis のクラウドへバックアップされる際は、P.10「保護計画の作成」をご参照ください。

新アカウントの有効化

1. 新アカウントが作成されると、申請の際に記載いただいたユーザメールアドレス宛に、「アカウントを有効化」というタイトルのメールが送付されます。
メール内「アカウントを有効化」をクリックし、Web コンソールにアクセスします。



2. 8文字以上の任意のパスワードを入力し、「次へ」をクリックします。
※ 設定いただいたパスワードはお客様環境にて管理をお願いいたします。



3. 契約条項の画面が表示されますので、「プライバシーポリシー」および「エンドユーザーライセンス契約」の文字をクリックしお読みいただき、チェックを入れて「受け入れる」をクリックします。

新バージョンの契約条項

下記の条項を読み、理解し、これに同意する場合は [同意する] をクリックします

プライバシーポリシー

エンドユーザーライセンス契約

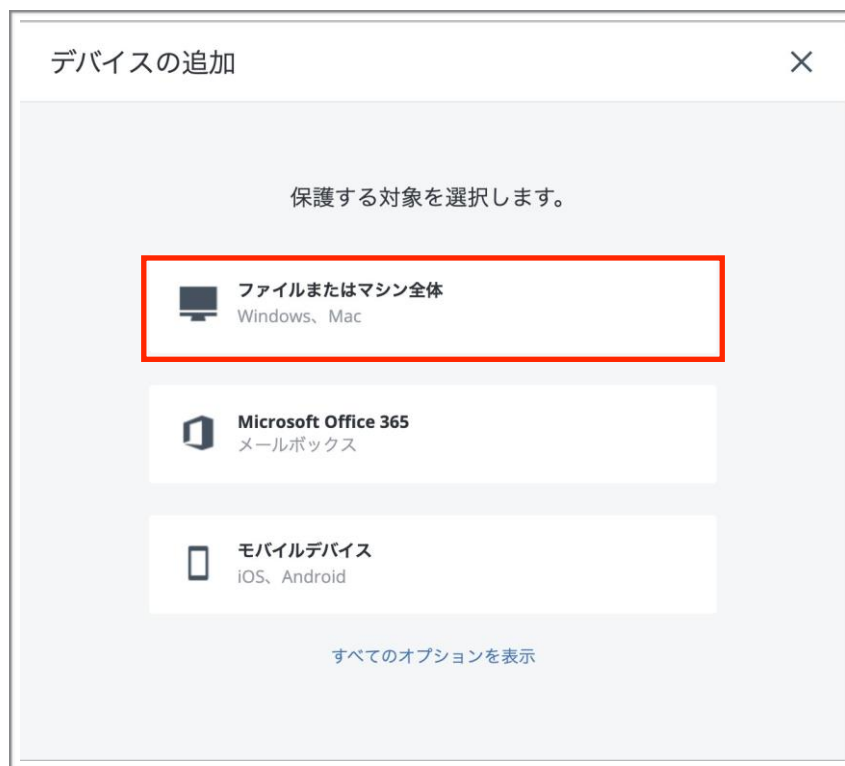
受け入れる

他のユーザーを選択

4. アカウントが有効化され、Web コンソールへのログインが完了します。

インストールとデバイスの登録

1. Web コンソール（<https://jp-cloud.acronis.com/login>）へのログインが完了すると、デバイスの追加画面が表示されます。「ファイルまたはマシン全体」をクリックします。



2. お使いの OS に対応したエージェントをクリックしてダウンロードします。



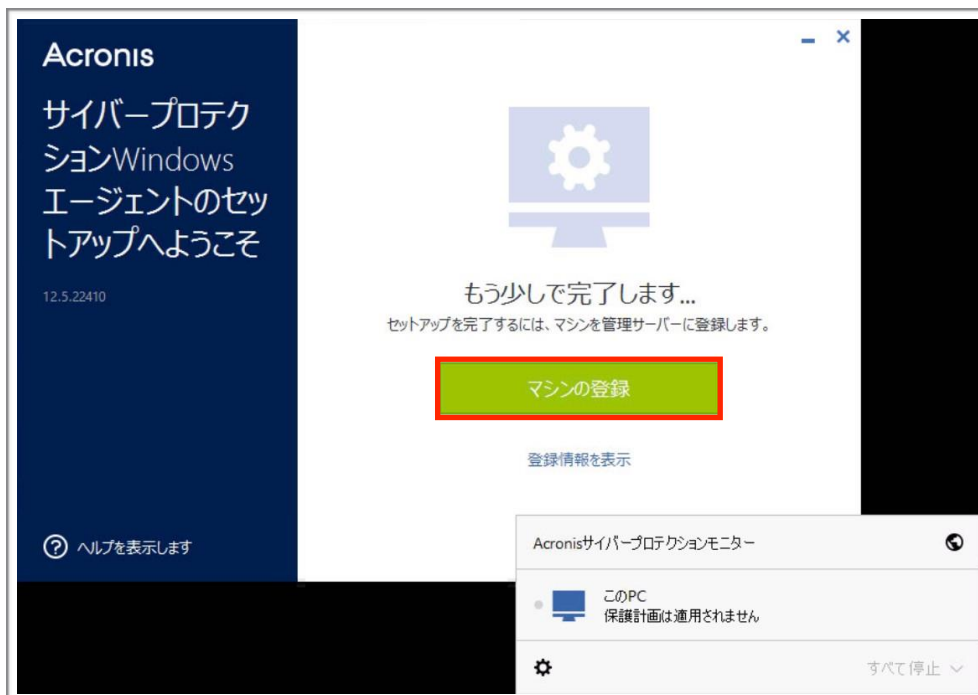
3. ダウンロードしたファイルをダブルクリックして起動します。



4. エージェントが展開されますので、「インストール」をクリックします。
※ プロキシを使用される場合は、「インストール」をクリックする前に P.7 「プロキシを使用される場合」のWindows もしくは P.9 Mac の手順を行なってください。



5. 「もう少しで完了します…」という表示と、バックアップモニタが表示されます。「マシンの登録」をクリックします。 ※バックアップモニタは操作不要です。



6. Web コンソールが立ち上がり、デバイスの登録画面が表示されます。内容を確認し、「登録を確認」をクリックします。



デバイスの登録

デバイスの登録を確認してください

登録コード JFDS-FLQR

登録者: [Redacted]

マシン名(M): [Redacted]

登録を確認

7. デバイスの登録が完了しましたという表示が出ますので、「OK」をクリックします。



デバイスの登録

成功

登録が完了しました。

OK

※上記は Windows の画面ですが、Mac も同様の手順となります。

プロキシを使用される場合

Windows

1. インストールボタン画面下、「インストール設定をカスタマイズ」をクリックします。



2. インストール設定画面が表示されますので、「HTTP プロキシサーバー」右側「変更」をクリックします。



3. HTTP プロキシ設定画面が表示されるので、「インターネット上のクラウドストレージへのバックアップおよびストレージからのリカバリには、HTTP プロキシサーバーを使用してください」にチェックを入れ、必要情報を入力します。

HTTPプロキシ設定

エージェントが管理サーバーへの登録、バックアップ、およびクラウドストレージからの復元に使用するHTTPプロキシサーバーを指定します

名前/IP

ポート

ログイン

パスワード

戻る 完了

4. 画面右下「完了」をクリックしてエージェントのインストールを開始します。

Mac

事前に下記手順を行い、プロキシを設定します。

1. /Library/Application Support/Acronis/Registry/Global.config ファイルを作成し、Text Edit などのテキストエディタで開きます。
2. 次の行をコピーしてファイルに貼り付けます。

```
<?xml version="1.0" ?>
<registry name="Global">
  <key name="HttpProxy">
    <value name="Enabled" type="Tdword">"1"</value>
    <value name="Host" type="TString">"proxy.company.com"</value>
    <value name="Port" type="Tdword">"443"</value>
    <value name="Login" type="TString">"proxy_login"</value>
    <value name="Password" type="TString">"proxy_password"</value>
  </key>
</registry>
```

3. proxy.company.com はご使用のプロキシサーバーホスト名/ IP アドレスで置換し、443 はポート番号の 10 進値で置換します。
4. プロキシサーバーで認証が必要な場合は、proxy_login と proxy_password をプロキシサーバー資格情報と置き換えます。必要ない場合は、ファイルからこれらの行を削除します。
5. ファイルを保存します。
6. バックアップエージェントがまだインストールされていない場合は、ここでインストールできます。または、次の手順でエージェントを再起動します。
 - A. [アプリケーション] > [ユーティリティ] > [ターミナル] に移動します。
 - B. 次のコマンドを実行します。

```
sudo launchctl stop acronis_mms
sudo launchctl start acronis_mms
```

バックアップ

保護計画の作成

1. サーバの登録完了後、画面右上の歯車マークをクリックします。



2. メニューバーが表示されるので、保護のタブをクリックします。



3. 保護計画の作成が表示されます。



①保護計画名：カーソルを移動させるとのペンマークが表示され、計画名を任意の名前に変更できます。

②バックアップ：バックアップの無効、有効を設定します。

③バックアップの対象：「マシン全体」「ディスク/ボリューム」「ファイル/フォルダ」「システム状態」から選択します。

※ご契約容量によってはマシン全体のバックアップができない場合がございます。マシン全体をバックアップするご予定がなく、特定のフォルダのみバックアップする場合は「ファイル/フォルダ」を選択してください。

※こちらの項目は、保護計画作成後変更が出来ません。変更する場合は、既存の保護計画を削除し、新しい保護計画を作成してください。

⚠ CrashPlan から復元したデータもバックアップする場合は、そのデータが入ったフォルダも含まれるように、バックアップの対象をお選びください。

⚠ 対象フォルダ配下で特定のフォルダやファイルを対象から外したい場合は、下記 FAQ の事象にご注意ください。 <https://ccibackup.jp/qa/>

【バックアップについて】 Q.フォルダ内の不要なファイルをバックアップ対象から除外する

-
- ④バックアップ先：「クラウドストレージ」を選択します。
- ⑤スケジュール：「時刻でスケジュール」「前回のバックアップからの経過時間」「ユーザがシステムにログインするとき※」「ユーザがシステムからログオフするとき※」「システムの起動時」「システムのシャットダウン時」「Windows イベントログ イベント発生時※」から選択します。※は Windows のみ表示されます。
必要に応じて「簡易表示」「開始条件」を設定します。
- ⑥保持する期間：「バックアップ期間」「バックアップ数」「バックアップを無限に保存する」から選択します。
バックアップ期間・・・「月単位」「週単位」「日単位」を設定します。（各最小：1）
バックアップ数・・・バックアップの最大数を設定します。
バックアップを無期限に保存する・・・期間を定めず世代を保持します。
すべてのバックアップセットを単一のルールに切り替える・・・時間、日、週、月、年から設定します。（各最小：1）
クリーンアップの開始・・・「バックアップ後」「バックアップ前」からクリーンアップを開始する時期を選択します。
- ⑦暗号化：オンにした場合、暗号化キーを忘れると復元できなくなります。
パスワードを設定（確認のため2回入力）し、暗号化アルゴリズムを「AES 256」「AES 192」「AES 128」のいずれかから選択します。
- ⑧アプリケーションバックアップ：「無効」になっています。クリックすると、各種アプリケーションバックアップの設定が行えます。（こちらの機能を利用希望される際は別途お問合せください）
- ⑨バックアップオプション：バックアップに関するオプションを設定します。

! 保護計画は複数作成することが可能ですが、保護計画を跨いだ重複排除は機能しません。スケジュールやバックアップ対象ファイルを変更する際は、既存の計画の編集を推奨いたします。

バックアップアラート（ダッシュボードアラート）の設定

バックアップアラートはデフォルトの設定が「無効」のため、下記手順にて設定します。これを設定することにより、指定日数にわたりバックアップが正常に完了しなかった場合に管理画面の【ダッシュボードタブ>アラート】に警告を表示させることができます。

1. 保護計画内のバックアップオプション「変更」をクリックし、バックアップオプションを開きます。



2. アラートタブより、「指定した日数にわたり、正常に完了したバックアップがありません」を有効にし、日数を設定後「完了」をクリックします。



3. 保護計画の「作成」をクリックして完了です。

バックアップの実行

保護計画作成後、バックアップを即時実行する方法として下記 2 つの方法があります。

方法1. 保護計画の画面から

該当の計画の▶マーク（今すぐ実行）をクリックします。



方法2. デバイス [簡易表示] の画面から

該当デバイス表示下部「今すぐバックアップ」をクリックし、保護計画をクリックします。



復元

復元の場合は、以下のように操作します。

1. [簡易表示] でデバイス画面を表示します。
2. 該当デバイス枠内下部もしくは右上歯車マークから「復元」をクリックします。

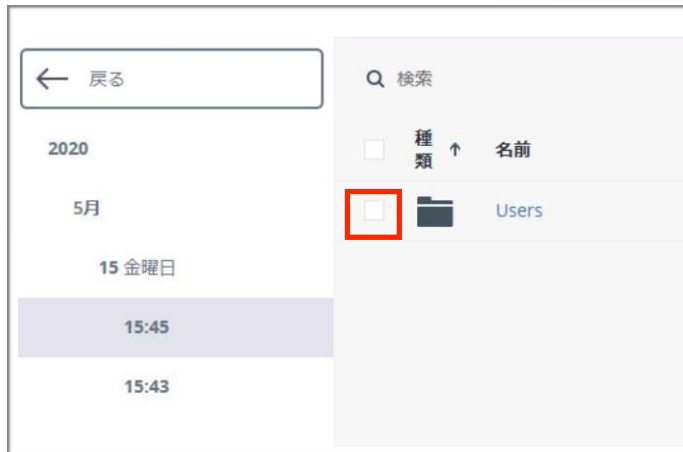
※下記は簡易表示モードです



3. 復元ポイントが表示されるので、任意のポイントをクリックします。



4. 復元したいフォルダにチェックを入れます。



-
5. 復元方法の選択ウィンドウが表示されます。
 6. 「復元 (①)」をクリックすると、「ファイルの復元」ウィンドウが表示されます。



7. 「元のロケーション」または「カスタムロケーション」を選択します。
カスタムロケーションを選択された場合は、「参照…」から復元先を指定します。



8. 「復元を開始」をクリックします。

9. 「ファイルの復元」ウィンドウが表示されるので、「既存のファイルを上書きする」「既存のファイルが古い場合は上書きする」「既存のファイルを上書きしない」のいずれかにチェックを入れて「実行」をクリックします。

ファイルの復元

既存のファイルを上書きする

既存のファイルが古い場合は上書きする

既存のファイルを上書きしない

マシンの自動的な再起動（必要な場合）

実行 キャンセル

10. 画面左側にアクティビティの詳細タブが表示されます。
復元処理の進捗についてはこちらから確認いただけます。

× アクティビティの詳細

12:36:58 — 12:36:59 (1 秒)
ファイルを復元しています (██████████)

ステータス: 正常終了
デバイス: ██████████
エージェント: ██████████
開始者: ██████████

開始時刻: 2019 年 6 月 28 日 12:36:58
完了時刻: 2019 年 6 月 28 日 12:36:59
時間: 1 秒

処理済みのバイト数: 5.09 MB
保存済みのバイト数: 5.06 MB

11. 「ダウンロード (②)」をクリックすると、操作を行なっているデバイスにデータがダウンロードされます。



CrashPlan の終了

アラート停止

容量アラートメール

ユーザページよりアラートを「送信しない」設定へと変更してください。

1. ユーザページ（<https://www.ccibackup.jp/proe/>）にログインします。
2. ログイン後、「容量アラートメール」タブをクリックします。



[マニュアルダウンロード](#)

ユーザ情報 利用状況 利用統計 アラート履歴 **容量アラート** バックアップアラート ログアウト

容量アラートメール設定

選択容量とクラウド容量が一定値（それぞれの上限值 80%, 90%, 100%）を越えた場合、下記送信先メールアドレス宛にメール通知を行います。（→マニュアル: [容量アラートメールについて](#)）

送信先メールアドレス
(300文字以内)

通知の有無 送信しない 送信する

カンマ (,) 区切りで複数のメールアドレスを登録できます。

メール送信テスト 更新する



個人情報保護方針 情報セキュリティ基本方針 運営組織 利用規約

Copyright © CCI Data Backup Center. All Rights Reserved.

バックアップアラートメール

ユーザページよりアラートを「送信しない」設定へと変更してください。

1. ユーザページ (<https://www.ccibackup.jp/proe/>) にログインします。

ログイン後、「バックアップアラートメール」タブをクリックします



[マニュアルダウンロード](#)

ユーザ情報 利用状況 利用統計 アラート履歴 容量アラート **バックアップアラート** ログアウト

容量アラートメール設定

選択容量とクラウド容量が一定値（それぞれの上限値 80%, 90%, 100%）を越えた場合、下記送信先メールアドレス宛にメール通知を行います。（→マニュアル: [容量アラートメールについて](#)）

送信先メールアドレス
(300文字以内)

通知の有無
 送信しない 送信する

メール送信テスト 更新する



個人情報保護方針 情報セキュリティ基本方針 運営組織 利用規約

Copyright© CCI Data Backup Center. All Rights Reserved.

2. 「通知の有無」にて「送信しない」にチェックを入れ、「更新する」をクリックします。

アンインストール

必要に応じて下記 FAQ「完全なアンインストール方法」もお試してください。

<https://support0633.force.com/CrashPlan/s/article/cp0027>

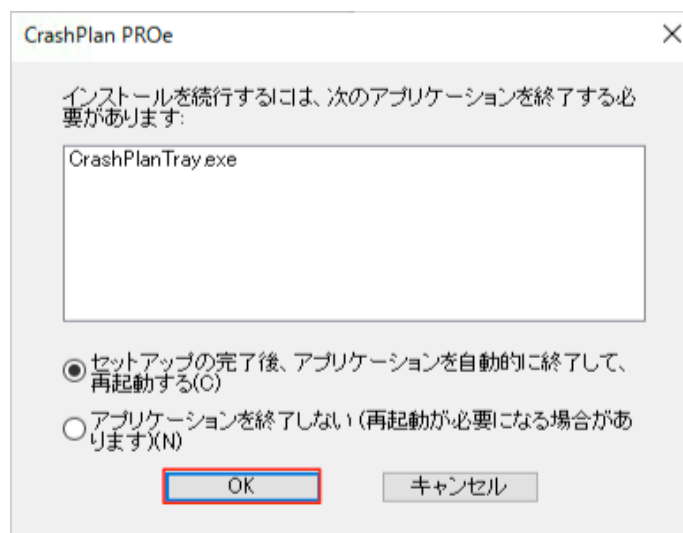
Windows

クライアントソフトを削除する場合は、コントロールパネルを開き「プログラムのアンインストール」からアンインストールを実施します。

1. 「スタート」 ボタンをクリックし「コントロールパネル」をクリックします。
2. 「プログラム」 から「プログラムのアンインストール」 をクリックします。
3. 「CrashPlan」 をクリックし「アンインストール」 をクリックします。



4. 「インストールを続行するには、次のアプリケーションを終了する必要があります」のダイアログが表示されたら「セットアップの完了後、アプリケーションを自動的に終了して、再起動する(C)」を選択して「OK」 ボタンをクリックします。
- 5.
6. 続いて「BackStore」 をクリックし「アンインストール」 をクリックします。以上でアンインストールは完了です。



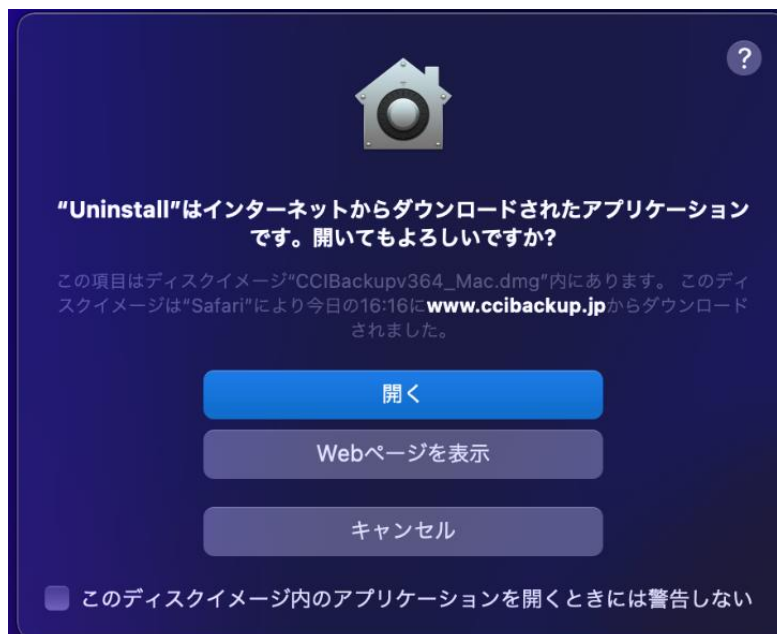
Mac

アンインストールには、インストーライメージファイルに含まれる「Uninstall」を使用します。

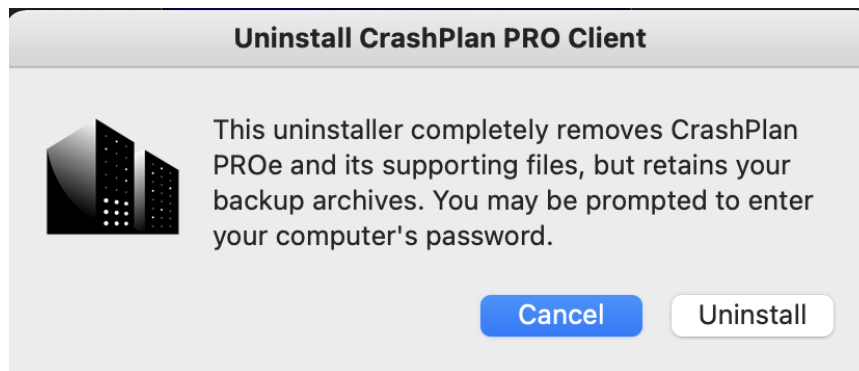
1. 管理者アカウントで Mac にログインします。
2. 「Uninstall」をダブルクリックし起動します。



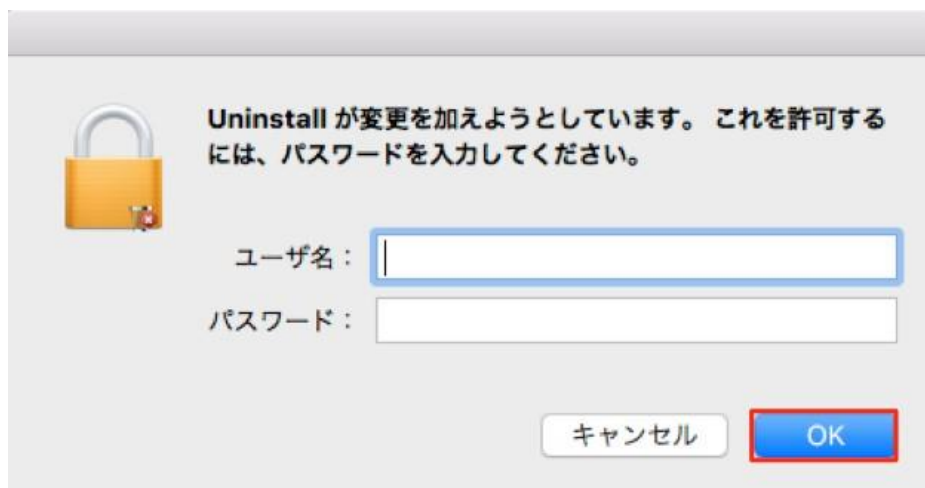
3. 下記のダイアログが表示される場合は「開く」ボタンをクリックします。



4. アンインストール実行の確認メッセージが表示されます。「Uninstall」をクリックします。バックアップデータは削除されずサーバに残ります。



5. 「管理者アカウント名」と「パスワード」を入力し「OK」ボタンをクリックします。



以上でアンインストールは完了です。